

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（10月定例会）
開催日時	令和5年10月27日（金）午後2時から午後4時まで
開催場所	田無第二庁舎3階会議室
出席者	委員：伊尻委員、小野委員、檜出委員、川原委員、河野委員、坂内委員、酒見委員、高橋委員、谷関委員、長谷川委員、松本委員、米村委員 事務局：吉田社会教育課長、神保社会教育係長、野田主事
議題	(1) 生涯学習推進指針について (2) 提言テーマについて
配付資料	
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

議題（1） 生涯学習推進指針について

○事務局：以下の通り説明

指針のたたき台を自助・公助・共助の視点から、方向性3つを柱にたたき台を作成した。

自助は一人一人が取り組むことであり「自ら学ぶ」。市は“自ら学べる環境づくり”に取り組む。

公助は市が取り組むことであり「学びを支える」。市は学習者のつながりや交流を意識した学習機会の提供をすることで学びを支える。

共助は地域や身近にいる人同士が一緒に取り組むことであり「学びをつなぐ・育む」。生涯学習を通して地域住民が連携を深め、あらゆる地域活動への対応や、地域の活性化等、地域力の向上を目指すとともに、様々な人々や組織との連携・協働をコーディネートする人材の養成・発掘を目指す。

指針のたたき台についてご意見いただきたい。

○議長：指針のたたき台について意見等あるか。

○委員：「策定にあたって」の中で生涯学習が取り巻く状況の例示として「地域コミュニティの衰退」があるが、必ずしも該当する地域ばかりではないので、他の表現をお願いしたい。

また、「生涯学習を推進するための方向性」のうち、自助にあたる「自ら学ぶ」については、自習室など、ハード面も含めているのか。

○事務局：「地域コミュニティの衰退」について、他の表現を検討したい。

また、方向性「自ら学ぶ」については、ハード面もソフト面も含んでいる。

○委員：社会教育士については指針の中に記載しないのか。

○事務局：共助にあたる方向性「学びをつなぐ・育む」に記載のある「様々な人々や組織との連携・協働をコーディネートする人材」に包含している。

○委員：コロナ禍を経験しテレワークなどの多様な働き方や、昨今注目が高まっているSDGsについては指針では触れないのか。

○事務局：多様な働き方についてはライフスタイルの多様化で包含している。SDGsは2030年までの開発目標であるため、検討したい。

○委員：方向性「学びを支える」についてはあらゆる人の学びの視点を入れてほしい。
「学びをつなぐ・育む」では「学んだことを地域へ発揮」とあるが発揮ではなく還元の方がよいと考える。

○事務局：検討する。

議題（２） 提言テーマについて

○議長：先月に続いて提言テーマについて検討いただきたい。8月、9月定例会の意見でキーワードになりそうなワード、その他に新たに追加したいワードをグループで話し合い、提言テーマを固めていきたい。

意見交換

○議長：グループワークにより浮かび上がってきたキーワードをつなげて、「新たな時代における社会教育のあり方～多様な人々がつながるネットワークづくりのために～」を仮テーマにするのはどうか。

一同同意

○議長：提言テーマについて次回定例会で引き続き検討したい。

次回会議

日時 令和5年11月24日（金）午後2時

場所 田無第二庁舎 5階会議室